

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第四百八十五號 明治卅八年十月十二日和歌山縣

公文

和歌山縣告示第二百十七號

左記ノ通り定置漁業ヲ免許シ漁業原簿ニ登録ス
 明治三十八年十月七日 和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敷

年月日	免許番號	漁業ノ種類及名	漁場ノ位置	漁獲物ノ種類	漁業時期	免許期間	條件又ハ制限	漁業權者又ハ代表者
明治三十一年十月七日	七一	鮎類 鮎掛	紀ノ川筋 那賀郡山崎村大字中島字上	鮎	每年九月一日ヨリ十一月三十日マテ	貳箇年	木石類ヲ以テ河水ヲ壅立クヘカラス、舟筏通行上障害トナラサル様設備スヘシ本縣漁業取締規則第十一條ヲ遵守スヘシ	那賀郡山崎村大字畑毛漁業權者代表者 赤井傳四郎
全年全月	七	全	紀ノ川筋 伊都郡九度山村大字慈尊院	全	全	全	全	伊都郡名倉村大字大野六百七十五番地 西山喜代松

縣報第四百八十五號 明治三十八年十月十二日 第三種郵便物認可

和歌山縣告示第二百十八號

左記堤防數ハ自今公用ヲ廢ス

明治卅八年十月九日 和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敷

記

有田郡箕島町大字小豆島字明見貳千四百壹番

一有田川堤防數段別壹段壹貳拾壹步

和歌山縣告示第二百十九號

兵庫縣安栗郡菅野村ニ於テ客月三十日牡牛一頭炭疽ニ罹リ本月一日斃死セリ

明治三十八年十月九日 和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敷

和歌山縣告示第二百二十號

左記ノ通り定置漁業ヲ免許シ漁業原簿ニ登録ス

明治三十八年十月十九日 和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 敷

免許年月日	明治三十八年十月九日	免許番號	七三	漁業ノ種類及名稱	帆葉類漁業 鮎翰掛	漁場ノ位置	貴志川筋 野上村北 野原野字 上野字 全郡全村	漁獲物ノ種類	鮎	漁業時期	毎年九月一日ヨリ十一月三十日マテ	免許期間	貳箇年	條件及ハ制限	木石類ヲ以テ河水ヲ堰立ツヘカラス、舟筏通行上障害トナラサル様設備スヘシ、本縣漁業取締規則第十一條ヲ遵守スヘシ	漁業ノ種別	代業ノ種別
全	七四	全	全	貴志川筋 野上村北 野原野字 上野字 全郡全村	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全郡中野上村 大字野上 田伏善兵衛		

○和歌山縣告示第二百二十一號
 樺太島へ渡航セントスル者ニシテ本年八月陸軍省告示第十六號樺太島出入船舶及渡航者規
 縣報第四百八十五號 明治三十八年十月十二日 第三種郵便物認可 二

則第六條ニ依リ身元証明書ノ下付ヲ受ケントスルモノハ身元証明書ヲ調製シ所轄警察官署ヲ經テ當廳ニ願出ツヘシ
 明治三十八年十月十日 和歌山縣知事 伯爵 清 棲 家 敬
 ○村長及ノ異動
 伊都郡四都村長 岡崎松次郎
 右十月七日認可

○觀 測

明治三十八年十月七日ヨリ三日間當地氣象概況

月 日	十月 七日		十月 八日		十月 九日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六二耗六	七五九耗四	七六五耗六	七六一耗九	七六六耗二	七六一耗一
平均氣温	一八度六	二〇度〇	一八度五	一八度一	一六度九	一九度六
最高氣温	二三度五	二四度五	二三度四	二五度〇	二〇度七	二五度二

可麗物便駕三第日八月五年三十三治明

縣報第四百八十五號

明治三十八年十月十二日

第三種郵便物認可

三終

最低氣温	最多風向	平均風力	天氣	雨雪量	記事
一五度二	北	二米二	晴小雨	〇耗四	早曉ヨリ 午前十時 八分迄降 雨ス午後 一時廿七 分廿六秒 ヨリ二秒 間ノ微震
一四度二	北西	三米九	晴	〇耗二	午前二時 海陸風雨 ノ警戒ヲ 解除ス
一三度九	東	三米三	晴		午前九時 〇二分海 上風雨ノ 警戒ヲ解 除ス
一二度七	東	二米七	晴		
一三度三	北東	四米六	晴后曇		午前九時 四十四分 海上風雨 ノ警戒着 電
一五度三	東	二米七	曇少雨	一耗一	午后降雨 夜刻西方 ニ電雷

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十八年十月十一日印刷
明治三十八年十月十二日發行

〔寄附代價〕
〔金參圓〕

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目一番地
印刷人 山本友太郎
和歌山市久保町一丁目二十四番地
印刷所 丸天印刷部